

めざす子ども像

『自らの街に誇りをもって、自らの街のことを語れる子ども』

取組目標

～守ろう地域のたから 育てよう故郷を愛する子どもたち～

【今年度の取組紹介】

<史跡散策&どんぐりひろい>

4年ぶりの史跡散策では、国内最大の蛇行剣と盾形銅鏡を出土し話題の富雄丸山古墳に出向きました。専門家の解説のもと、地域の歴史を学び、古墳でのどんぐりひろいも楽しみました。埋蔵文化財調査センターには、事前打ち合わせから当日の説明・出土品の展示まで協力いただき参加者からも大好評でした。

<どんぐりプロジェクト>

どんぐりポスト設置3年目。地域住民からも率先した協力をいただき、564kgが集まりました。猛暑の影響を受け、昨年(814kg)より少なかったのですが、子どもたちと一緒に鹿にどんぐりをあげることができました。鹿愛護会からは初めてお礼状をいただき、来年の活動への励みとなりました。

<京中にあつまれ！ポッチャ大会>

4回目の今年は子どもたちが審判をつとめました。サポート役のシルバー世代からは「元気をもらえる」「来年も一緒にやろう」の声が届きました。

<広報紙「京チュン通信」>

私たちの事業を多くの人に知ってもらうツールとして年2回発行。夏号には復活した史跡散策&どんぐりひろいの特集を、春号では中学卒業生の「将来の夢」を掲載。写真撮影や記事の準備、校正、仕分けまで全CNが関わり作り上げました。



【今年度のまとめ】

- ・学校担当司書が月1回配置となり新しいPCによる貸出業務は遅延しましたが、子どもたちの居場所である学校図書館を司書・司書教諭の協働のもと運営する本来の姿への変革が始まったと感じています。
- ・「京チュン通信」は子どもたちや地域の皆さんに好評で、発行を心待ちにするファンが定着しています。
- ・コロナ禍後の効率的な取組を検討し、LINEをフル活用して会議を月1回に削減しました。
- ・新しいボランティアの職業や人脈を活かした新しい活動を試すことができました(5校園巡回原画展)。

【来年度に向けて】

- ・『継続は力なり』地域・家庭・学校が連携・協働して子どもたちを育成する活動を推進します。
- ・「史跡散策」「授業支援」「ポッチャ大会」「京チュン通信の発行」「大学生参画事業」など継続して取り組み、ボランティアの輪を広げ、学校園の必要な場面で必要な支援ができる組織を目指します。
- ・新規事業として「5校園巡回原画展」を実施し、子どもたちに本物に触れる場を提供します。
- ・「学校に行きにくさを感じる子の支援」の一環として保護者が集える場を模索します。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、 自らのまちのことを語れる子ども

取組目標

学校を美しく 心を豊かに 挨拶が響き合い

互いの思いを語り合える学校に

【今年度の主な取組紹介】

- 「図書ボランティア事業」
年間を通して、地域の図書ボランティアによって昼休みの図書室の開館や蔵書整理、新刊本の紹介などの環境整備活動を実施しました。
- 「放課後学習支援事業」
定期テスト前の放課後学習会に、大学生参画事業により活動している学生が参加し学習補助を行いました。
- 「キャリア教育支援事業」
進路学習支援の一貫として面接マナー講習会を2、3年生を対象に実施（年2回）しました。
- 「国際交流事業」
1年生において、日本への留学生の方（スリランカ、ネパール、ミャンマー、バングラデシュ）を講師として招聘し異文化交流授業（食文化、言語、観光地など）を実施しました。
- 「道徳・福祉体験活動事業」「放課後学習活動支援事業」
 - ・わかばふれあいレストランを開催し、特別支援学級生と保護者、地域の方が豚汁の調理を通して交流を深めました。
 - ・障がい者問題を全体の問題として捉え、共生していくことを考える機会として、1年生において福祉体験（車いす体験、視覚障がい者体験）を実施し、多数のCNの方々による補助をいただきました。また、ろう者の方々を講師としてお招きし、2年生において福祉体験（手話体験）を実施しました。



【今年度のまとめ】

○多くの事業が定着し、生徒や地域にも受け入れられています。地域の皆さんが温かく見守ってくださり、時には一緒に活動して、生徒たちに積極的に関わりをもってくださることで、生徒一人ひとりの心の中に学校愛や地域愛が生まれ、自らの地域、まちを誇れる生徒の育成につながっていると感じます。また心にゆとりが生まれ、挨拶がしっかりできる生徒がますます増えてきて、まちでは朝から元気な声が響き、地域の方々との交流の機会となっています。

【来年度に向けて】

- 今年度以上に、地域の方との協働による事業を推進していきたいです。
- 各取組が、生徒・保護者・地域の皆さんに深く浸透していることが伺えます。
- マンネリの活動にならないように工夫を行うとともに、地域の方々が参加してよかったと思っただけの活動方法をさらに模索していきたいです。

めざす子ども像

自らのまちに誇りをもって、 自らのまちのことを誇れる子ども

取組目標

命こそ宝、地域が宝。宝を活かそう！



【今年度の取組紹介】

地域 CN・ボランティアの皆さんが子ども達の学習活動を支えてきました。

① 図書ボランティア（としよぼん）による活動

- 掲示物作成
- 新書のブックカバー作業
- 本の整理
- としよぼん通信の発行
- 環境整備 等

としよぼん通信

朝の読み聞かせで読まれた本が **1000 冊** を超えました！

記念すべき1000冊目は、
まゆとかっぱ やまんぼのむすめ まゆのおはなし
降矢なな(絵)/富安陽子(文)

2014年のとしよぼんの創立時から
尽力していただいている河瀬紀江さんの読んだ本が、
記念すべき1000冊目となりました。

…最近では読み手が自分で入力する形で記録を
取っているので付度なしです(笑)

としよぼんの活動は2014年からはじまり、その当時からずっと続けてきた活動が
朝の読み聞かせ(朝読)です。当初から記録をとっています。この記録は、としよぼんの
大事な軌跡となっています。

今までに参加した読み手は **35 名**。
今年度は14名が参加しています。お母さん、お父さん、おばあちゃん、大学生…
校長先生に読んでいただいたこともあります。

読まれた本の種類は **750 冊**！
全部で1000冊なのに750種類の本って驚きですね。
ほとんどが違う本を選んで読まれているんです。
読み手が、季節や子どもたちの学習内容、遠足の行先などを考えて選んでいます。



② 学習支援

- 福祉体験の補助
- 読み聞かせ
- 七夕飾りの補助 等



【今年度のまとめ】

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大により当初の活動計画の変更を余儀なくされましたが、感染状況を見ながらできることを地域と共に考え、再開できた活動もありました。

【来年度に向けて】

- ・ 保護者・地域にも活動取組を紹介することで、学校にいなくても活動がわかるように発信していきます。
- ・ 感染予防対策をしながら、「できる事を できる時に できる形で」地域の方と共に前進していきます。

めざす子ども像

自らの街に誇りをもって、自らの街のことを語れる子ども

取組目標 ともに学び、ともに歩み、豊かな人権感覚を熟成する学校
 ～子どもたちの瞳輝く「ふしなんプロジェクト」の創造～

【今年度の取組紹介】

児童健全育成協議会（ふしニヤンの会）の主催により、7月に「七夕祭り」、11月に「干し柿作り」、12月に「しめ縄作り」を実施できました。新型コロナウイルス感染症が5類移行となったことを踏まえて、行事内容の検討をおこないました。検討の結果、すべての学年の子どもたちが、いずれかの行事に参加することで日本の文化に触れる体験ができるように、「七夕祭り」を1・2年生（5・6年生）、「干し柿作り」を5・6年生、「しめ縄作り」を3・4年生対象とすることにしました。5・6年生が年間2回となりますが、1・2年生が安全に作業を進めることと交流を目的として、「七夕祭り」を1年生と6年生、2年生と5年生が共に活動する機会としました。1月には、土曜日活動として「とんど」を実施しました。

いずれの活動でも会のみなさまや自治会、万年青年クラブ、民生児童委員、地域 CN、ボランティアの方々に指導や活動の支援をいただきました。子どもたちが伝統文化についての学びを深めるとともに、地域の方とのふれあいを楽しむ素敵な時間となりました。

図書室では、図書ボランティアの方が定期的に環境整備に尽力くださるとともに、2・3学期にはすべての学級での読み聞かせを実施するなど、子どもたちが本の魅力を感じ、読書に親しめるよう活動くださいました。また、基礎学力向上のために漢字の学習に取り組んでいただき、2月17日には本校での漢字検定を開催することができました。

**【今年度のまとめ】**

「自らのまちに誇りをもって、自らのまちを語れる子ども」の育成を目指し、保護者・地域の方と連携して子どもたちの豊かな人間形成に資する活動となるよう心がけながら諸行事を進めることができました。その際、よりよい行事のあり方を検討しながら進めることができ、これからのつながるものになったと考えます。また、栽培委員会や学年の花・野菜植えといった様々な場面で、地域の方の協力を得ることができました。回数は多いとは言えませんが、子どもたちが地域とのつながりを感じることができたのではないかと考えます。

【来年度に向けて】

地域・学校・家庭の連携を強化しつつ、子どもたちの学びが深まるような活動の計画や学習環境の整備を、地域の方の協力を得ながら進めていきます。地域の方がゲストティーチャーや学習支援ボランティアとして学校教育に関わっていただきやすくなるように、学習内容を検討し、年間計画の策定を進めたいと考えています。

めざす子ども像

『自らまちに誇りをもって、自らのまちのことを語れる子ども』

取組目標

こころとからだで感じ、意欲的に遊び、たくましく生きる子ども

【今年度の取組紹介】

○今年度はたくましく生きる子どもをめざし、地域住民の奈良市ソフトボール協会の方々に幼児期からのボール遊びを教えてくださいました。ソフトボールを用いて、投げる・受ける・打つという体験を通して、地域の方と一緒にストラックアウトゲームやベースボールのゲームをして楽しみました。



○『体操教室では』バブル体操教室のコーチに毎月来ていただきました。始めにストレッチ体操をして身体をほぐし、順番に跳び箱や平均台、マット、鉄棒等の使い方を楽しく教えてくださいました。最後にはサーキット遊びをしました。ひとり一人の発達に合わせた援助をされながら、正しい運動用具の使い方を学ぶ事で子ども達は安全な遊び方を楽しく学び、普段の保育の中でも安全に遊ぶことができます

○毎年、小学校の先生をされていた地域の方に『運動遊びの会』をしていただき、年少は縄跳び、年長はボールやフープを使った運動遊びを教えてくださいました。それぞれのアイデアを皆の前で紹介され、子ども達は主体的に遊びに取り組み、身体を思いきり動かして楽しんでいました。



【今年度のまとめ】

『あそボール』の活動での投げる・受ける・打つという動作は、手・足・体を同時に動かす為、体の基礎運動能力の向上や体のバランスを上手にとることができる事を教えてくださいました。『体操教室』では「楽しい・嬉しい・くやしい・できた」を共感し、友達と一緒に「できた」という感動や達成感を味わうことができました。また、『運動遊びの会』ではフープや縄跳びを使った遊びを通してバランス感覚やリズム感、あきらめずに取り組む事で向上心を身につけることができました。これらの取組から子ども達は意欲的に活動し、自ら学ぶ力やたくましさを育むことに繋がりました。友達と力を合わせて得た達成感や満足感、地域の方と触れ合っただけで学んだコミュニケーション力や感謝をする気持ちが意欲や思考力につながり深い学びへとつながっていきました。

【来年度に向けて】

来年度も地域の方々の教育力に助けをいただきながら、子ども達に五感を刺激するような様々な経験をさせてあげたいと思っています。またその取組をホームページや六条幼稚園ニュースで紹介し、六条幼稚園の子ども達の様子をお知らせしていく予定です。園の行事や子ども達の様子をホームページや六条ニュースで発信し、地域の皆様に見守っていただきながら活動していきたいと考えています。

めざす子ども像

『自らのまちに誇りをもって、 自らのまちのことを語れる子ども』

取組目標

いろいろな人や身近なものとの関わりを通して、心豊かでいきいきと活動する子どもを育てる。

【今年度の取組紹介】

◆創立40周年おめでとう会

幼稚園創立40周年の節目の年として様々な記念行事等の取組を行いました。11月に開催したおめでとう会では、「マジックショー」や「絵本原画展」等を地域、保護者の方の参加も得て実施できました。

「マジックショーは不思議なことがいっぱい楽しかった」「ほのぼのとした絵本の原画を見て気持ちが温かくなりました。」等、子どもや保護者の心に残る学びの多い時間となりました。



◆親子陶芸

地域の赤膚焼き窯元の先生をゲストティーチャーとして招き、親子で作陶をしました。作品は、40周年記念作品展に展示し、保護者や小学生、地域の方にも観ていただくことができ、保護者からも「素晴らしい体験ができ、本当に良い経験になりました」と嬉しいご意見が多く聞かれました。



◆ドローンを飛ばそう

記念運動会で行った子ども達の演技をドローンで撮影していただき、子どもや地域の方もドローンの操縦を体験する機会をつくりました。子ども達は空から見た幼稚園や自分達の姿に驚き、ゲストティーチャーに教えていただきながら、楽しく操縦を行い、貴重な体験となりました。

【今年度のまとめ】

・感染症対策を徹底しながら昨年にはできなかった事業や取組ができました。地域コーディネーターや地域の方々と共に活動する機会も増え、子ども達はいろいろな人や身近なものとの関わりをもち、心豊かでいきいきと活動する場面が多く見られました。地域への園外保育も、地域コーディネーターのサポートのもと実施できました。人との関わりや経験を通して、地域を知り、心をこめて挨拶し、親しみや感謝の気持ちが育ち、コミュニケーション力が育ちました。保護者の方からも「いろいろな行事や遊びの機会があり、子どもと一緒に経験ができて楽しめました。」「ゲストティーチャーに来ていただき、体操や英語に触れる時間がありとても楽しく学んでいます。」と子どもの心豊かでいきいきと活動する姿を見て、主体的で豊かな学びにつながっていることを喜んでくださっています。

【来年度に向けて】

ハローイングリッシュや、のびっ子クラブ、未就園児との交流等の活動も学びが多く、継続の大切さを感じることから来年度も行う予定です。新規事業として、小学生のお話こんにちはや、防災教育事業等を予定しています。来年度も、地域の方や保護者の方と連携しながら環境構成や援助の方法を工夫し、自らのまちに誇りを持ち、自らのまちのことを語れる子を目指したいと思います。